

編集後記

- ◇ この学会誌第2号は「チェルノブイリ膀胱炎物語」と題する福島昭治氏の巻頭言をいただき、4報の記事を収載して発行することができました。ご多忙の中、ご執筆下さった福島昭治氏に感謝申し上げます。福島氏はチェルノブイリ原発事故に関連する可能性のある膀胱の病変に関する共同研究のご経験を踏まえ、3月の福島原発事故に対して重要なことは、10年後、20年後に同じことを起こさせないための一刻も早いリスク管理対策の実施であると述べておられます。
- ◇ また、化審法改正時の国会附帯決議にかかわる民主党および関係省庁の対応に関する星川欣孝らの報文は、国会附帯決議に対する関係省庁の対応の実態を具体的かつ詳細に検証したもので、これまでに例を見ない内容になっています（Y. H.）